

放生津 ふり返る未来研究会

「放生会：ほうじょうえ」から見て取れる「生き物を放す海辺・川
辺」と解釈する。鳥・魚に「感謝」をする。

放生津地域は「大伴家持」以来、約1300年の歴史があります。その中での歴史を学び、研究する会です。講座形式ですが歴史の一端を知ることが、今後の地域課題解決に向けた糸口を探ることになるのではないかと考えます。

受講者募集

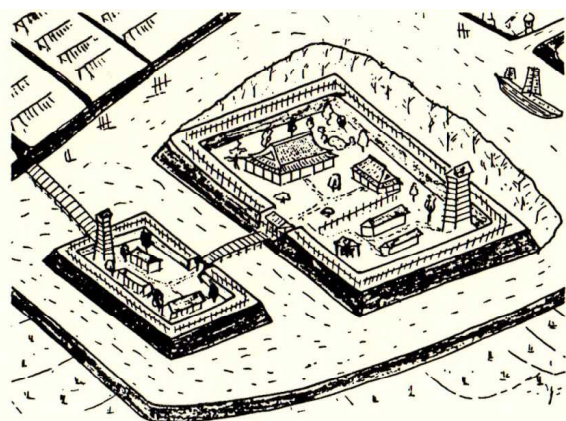
2022年(令和4年)4月開校予定



「神保長誠」(じんぼながのぶ)「大伴家持」(おおともやかもち)



松尾芭蕉(奥の細道)氷見への道を尋ねる図
(蕪村描:1689年:元禄2年)放生津にて。



放生津城想像図

一緒に学びませんか！

私達の住む「放生津」と地域は、歴史的に
意義深い事実が多くあります。

「新湊市史」やいくつかの歴史書を探っ
てみると「とても感動的な事実」が浮かび
上がってきます。本の中だけではなく地域の
先人の思いを知ることから未来創造が始ま
ると考えます。

是非御参加ください。

主催：射水市／放生津地域振興会

放生津「ふり返る未来講座」歴史調査課題

2022年（令和4年度）～2024年（令和6年度）3年間継続事業

1. 歴史調査課題

令和4年課題「災害・祭り」	令和5年課題「古名称」	令和6年課題「人物」
①寄り回り波／高潮	①町名由来	①足利義材
②大火事	②地名由来	②松尾芭蕉
③地震	③放生津城	③大伴家持
④曳山・放生津八幡宮	④獅子舞	④石黒信由

- それぞれの講師をお招きしての講座です。※課題内容・講師に変更あり。
- それぞれの内容・意見を集約し、「放生津地域振興会HP」に掲載する。
- 会場は、基本的に「放生津コミュニケイセンター」とし、事務局も設置する。
- 2022年（令和4年）2月頃から「参加者を募集」する。定員は未定（コロナ感染）
- 各年間計画表を作成し、その日時・課題に基づいて実施する。
- この事業の目的・効果としては、歴史を学ぶ中で地域課題対策の糸口を探り、未来志向の意識高揚を諮る。
- この事業の展開としては、過去を調査することで、放生津1200年の歴史・文化を地域住民と共に語り合う機会を提供し、歴史的価値や遺産を発見したい。その内容をHPに掲載しながら、全国に放生津の特色や課題を発信する。
- この事業の費用は、射水市・放生津地域振興会からの補助を受けて実施する。受講者の参加費は、無料とする。
- 事業主催団体・役員は、以下とする。

事業主催団体・役員
射水市／放生津地域振興会補助事業
団体所在地／射水市立町10番20号
団体名／放生津校下地域振興会
代表者名／宮島 伊佐夫
電話・fax／0766－82－8460
事業事務局長氏名／片境忠勝
事業責任者氏名／桧物和広